

登録コード	J9010106	開講年度	2026				
授業科目	新入生ゼミナールⅠ					担当教員	赤川 理
英文授業名	Fresher's Seminar Ⅰ					副担当	WU PO TSANG・箕輪 さくら・CHOI JEONGIM・PARK JU HEE
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限		対象学年
講義室	経法501演習室		授業区分	演習	遠隔授業科目		法：1年
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】	
	経法23初（2026改）・総合法律，経法23初・総合法律						
	法学の専門領域の基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				⇔	・法律学を学ぶための基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な文献収集の方法・言語表現の方法・判例の読解方法について理解し，その基礎的な内容を説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この授業は、演習方式で行います。大学生としてのマナーを身につけ、学習の基礎となる読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、文章作成能力を養成していきます。経法学部総合法律学科では、法律学系の教員がそれぞれの分野の基礎的な学習方法について指導を行います。						
(5)授業計画	1 初回ガイダンス 2 こころの健康・大学生活のリスク対策（学生総合支援センター） 3 裁判傍聴ガイダンス 4 図書館ガイダンス(中央図書館) 5 情報セキュリティガイダンス(総合情報センター) 6 環境セミナー 7 研究者倫理 8 キャリアガイダンス 9-14 法的な問題の学び方（判例研究、グループ討論、発表、文章作成等） 15 まとめ、授業アンケート ＊各種ガイダンス等のスケジュール調整により、上記の授業計画は一部変更される可能性があります。						
(6)成績評価の方法	レポート（70%）と平常点（30%）によります。						
(7)成績評価の基準	(i)問題の設定が適切であり、(ii)その問題の背景を説明できており、(iii)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv)それらの課題に対して既存の学説・判例が提示する解決法を適切に把握できており、(v)そのうえで、自分の見解を提示できており、(vi)それが教員を感心させるレベルにあれば、「卓越している」。(i)から(v)までのうち、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	必要に応じて、適宜指示します。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	対象は、経法学部総合法律学科の1年生です。各自指定された教員のクラスで受講してください。 毎回出席をとります。病気・事故などで欠席せざるを得ない場合は必ず担当教員に連絡して下さい。 第1回授業は経法学部講義棟第2講義室で実施します。						
(10)質問,相談への対応	演習形式ですので、内容に関する質問等は演習の時間中にすることを推奨します。個別に相談事項等があるときは、メール等で各教員に連絡して下さい。						
【教科書】	富永晃一ほか『ケースで学ぶ 実践への法学入門－考え方を身につける（第2版）』（中央経済社、2022）2,000円＋税						
【参考書】	必要に応じて、授業中に指示します。						